

稲作だより

第 10 号
病害虫
防除編

令和4年7月26日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329 (稲作担当)

斑点米カメムシ類の発生多い！ いもち病にも引き続き警戒を！

斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数がかかなり多い状況です。地域全体で防除を徹底し、密度を低減しましょう。

病害虫対策

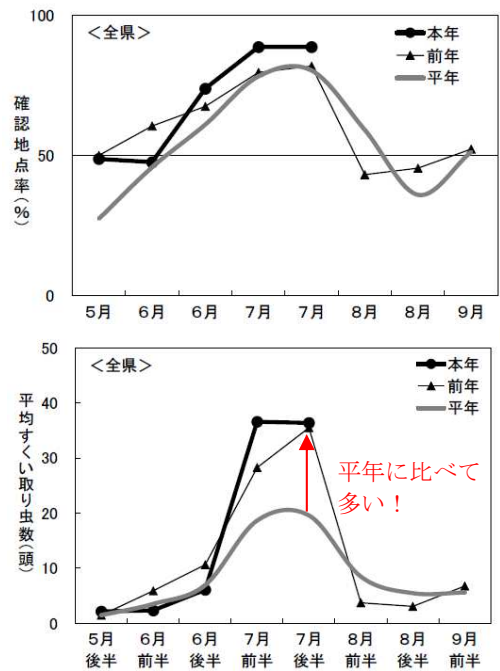
1 斑点米カメムシ類

注意報
発令中!!

出穂期間近の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内に追い込む原因となり、斑点米増加のリスクを高めます。

7月の一斉草刈り後は、**8月末までは原則草刈りを行わない**ようにしましょう。やむを得ず草刈りを行う場合は、薬剤防除の直前に実施します。

①穂揃期と②その7～10日後に必ず防除を行きましょう！2回目の防除後も斑点米カメムシ類が確認された場合は、補完防除（2回目の防除の7～10日後）を行きましょう。



斑点米カメムシ類のすくい取り状況(畦畔・農道)

2 いもち病

今年も各地で葉いもちの発生が確認されています。葉色が濃い圃場では特に注意し、こまめに見回りを行いましょ。

薬剤防除は、**①穂ばらみ後期、②穂揃期の2回が基本ですが、病斑を発見したら直ちに治療効果の高い薬剤で防除しましょ。**



葉いもちの病斑(あぐりんより)
内部は灰白色、周囲は赤褐色の紡錘形

3 稲こうじ病

発病後の治療薬剤はありません！
予防を徹底しましょう！

発病した場合は治療薬剤がないため、特に毎年発生する圃場では予防対策を徹底しましょう。また、薬剤防除の際には使用上の注意を確認し、適切に防除することが重要です。



4 紋枯病

前年の発生が多かった圃場は要注意！

主に畦畔周辺の地際から発生し、茎数が多い圃場や高温時に発生が多くなります。前年に発生が多かった圃場では、特に注意が必要です。



出穂予想

地域	品種	移植日	出穂予想
新庄市泉田	はえぬき	5/24	8/ 9 (平年+2)
新庄市泉田	雪若丸	5/25	8/ 9 (指標+2)
舟形町富田	つや姫	5/14	8/ 9 (平年-3)
最上町向町	あきたこまち	5/25	8/ 5 (平年+1)

移植が遅れた圃場や、山間・中山間地域は更に遅れると見込まれます。

※普及課生育診断圃場等の幼穂発育状況から予測
※つや姫・あきたこまちは7/20時点、はえぬき・雪若丸は7/25時点

出穂期前後の水管理

出穂までは、土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持するため、間断かん水を基本とします。

気象庁の1か月予報によると、今後も高温となる確率が高い予報です。**猛暑が予想される場合は、可能な範囲で地温を下げる水管理**としましょう。

また、**出穂・開花期は、稲にとって最も水が必要な時期**です。2~5cmの水深を保ち、水を切らさないように管理しましょう。

農薬危害防止運動実施中！（6/1~8/31）

ラベルで登録内容をしっかり確認しよう！



STOP！農作業事故！

農薬散布時は安全な服装で！

熱中症に注意！こまめな休憩と水分補給を行おう！



農薬の使用に当たっては、近隣のみつばち飼育の有無を確認し、みつばちへの被害を防ごう

